【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公開番号】特開2005-173922(P2005-173922A)
【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2005-025
【出願番号】特願2003-412214(P2003-412214)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　7/60　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/21　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　1/00　２００Ｄ
Ｇ０６Ｔ　7/60　１５０Ｐ
Ｈ０４Ｎ　1/21

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月15日(2005.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像入力手段を介して入力した原稿を構成するページ単位の原稿データを、文書における章を構成するページとして登録することが可能な情報処理装置であって、
前記画像入力手段を介して入力したページ単位の画像データから各ページの方向を検出する方向検出手段と、
前記方向検出手段により検出された前記各ページの方向が連続するか否かを検出する連続性検出手段と、
前記連続性検出手段による検出結果に基づき、前記各ページの方向が連続するページをまとまりとして、前記文書における章を構成するページとして、前記画像データを登録する登録手段と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。
【請求項２】
画像入力手段を介して入力した原稿を構成するページ単位の原稿データを、文書における章を構成するページとして登録する情報処理方法であって、
前記画像入力手段を介して入力したページ単位の画像データから各ページの方向を検出する方向検出工程と、
前記方向検出工程により検出された前記各ページの方向が連続するか否かを検出する連続性検出工程と、
前記連続性検出工程による検出結果に基づき、前記各ページの方向が連続するページをまとまりとして、前記文書における章を構成するページとして、前記画像データを登録する登録工程と、
を備えることを特徴とする情報処理方法。
【請求項３】
前記方向検出工程により検出されたページの方向が予め定められた方向に該当しない場合、前記連続性検出工程は、当該ページの方向を、前のページに連続するページとして修正

することを特徴とする請求項２に記載の情報処理方法。
【請求項４】
前記方向検出工程により、前記画像データが白紙として検出された場合、前記連続性検出工程は、当該白紙のページの方向を、前のページに連続するページとして方向を修正することを特徴とする請求項２に記載の情報処理方法。
【請求項５】
前記方向検出工程は、前記ページの方向を検出するために、異なる複数の方向に関して、確からしさを示す方向検出確度をそれぞれ演算し、当該演算された複数の方向検出確度を比較して、最大の方向検出確度に対応する方向を、当該ページの方向として検出することを特徴とする請求項２に記載の情報処理方法。
【請求項６】
前記連続性検出工程は、前後のページの方向に基づき、孤立するページを検出し、当該孤立するページが連続する数に従って、前記方向検出工程により検出されたページの方向を修正することを特徴とする請求項２に記載の情報処理方法。
【請求項７】
前記孤立するページが１ページの場合は、前記連続性検出工程は、当該孤立するページの方向を、前のページに連続するページとして修正することを特徴とする請求項６に記載の情報処理方法。
【請求項８】
前記孤立するページが２ページ連続の場合は、前記連続性検出工程は、当該孤立する各ページの方向検出確度の大小関係に従って、いずれか一方のページの方向を修正することを特徴とする請求項６に記載の情報処理方法。
【請求項９】
前記孤立するページが３ページ以上連続する場合、前記連続性検出工程は、当該孤立する各ページの方向を修正しないことを特徴とする請求項６に記載の情報処理方法。
【請求項１０】
前記登録工程により登録された、前記画像データと前記検出結果に基づいて、表示手段に当該画像データをプレビュー表示する表示制御工程を備えることを特徴とする請求項２乃至９のいずれかに記載の情報処理方法。
【請求項１１】
前記表示制御工程は、前記プレビュー表示において、前記検出結果に基づき、方向が修正されているページを識別するための識別表示を当該ページのプレビュー表示に付加することを特徴とする請求１０に記載の情報処理方法。
【請求項１２】
請求項２乃至１１のいずれかに記載の情報処理方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
すなわち、画像入力手段を介して入力した原稿を構成するページ単位の原稿データを、文書における章を構成するページとして登録することが可能な情報処理装置は、
前記画像入力手段を介して入力したページ単位の画像データから各ページの方向を検出する方向検出手段と、
前記方向検出手段により検出された前記各ページの方向が連続するか否かを検出する連続性検出手段と、
前記連続性検出手段による検出結果に基づき、前記各ページの方向が連続するページをまとまりとして、前記文書における章を構成するページとして、前記画像データを登録す

る登録手段とを備えることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
あるいは、画像入力手段を介して入力した原稿を構成するページ単位の原稿データを、文書における章を構成するページとして登録する情報処理方法は、
前記画像入力手段を介して入力したページ単位の画像データから各ページの方向を検出する方向検出工程と、
前記方向検出工程により検出された前記各ページの方向が連続するか否かを検出する連続性検出工程と、
前記連続性検出工程による検出結果に基づき、前記各ページの方向が連続するページをまとまりとして、前記文書における章を構成するページとして、前記画像データを登録する登録工程とを備えることを特徴とする。